# 地域医療学

## １　構　成　員

| | 平成 26 年 3 月 31 日現在 |
|---|---|
| 教授 | 0 人 |
| 病院教授 | 0 人 |
| 准教授 | 0 人 |
| 病院准教授 | 0 人 |
| 講師（うち病院籍） | 0 人　（0 人） |
| 病院講師 | 0 人 |
| 助教（うち病院籍） | 0 人　（0 人） |
| 診療助教 | 0 人 |
| 特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む） | 1 人 |
| 医員 | 0 人 |
| 研修医 | 0 人 |
| 特任研究員 | 0 人 |
| 大学院学生（うち他講座から） | 0 人　（0 人） |
| 研究生 | 0 人 |
| 外国人客員研究員 | 0 人 |
| 技術職員（教務職員を含む） | 0 人 |
| その他（技術補佐員等） | 2 人 |
| 合計 | 3 人 |

## ２　教員の異動状況

山岡　泰治（特任教授）　（H19.10.1～H20.7.31 特任准教授　；　H20.8.1～　現職）

原岡　智子（特任助教）　（H21.4.1～　H25.3.31）

## ３　研究業績

数字は小数２位まで。

| | 平成 25 年度 |
|---|---|
| （1）原著論文数（うち邦文のもの） | 0 編　（0 編） |
| そのインパクトファクターの合計 | 0.00 |
| （2）論文形式のプロシーディングズ及びレター | 0 編 |
| そのインパクトファクターの合計 | 0.00 |
| （3）総説数（うち邦文のもの） | 0 編　（0 編） |
| そのインパクトファクターの合計 | 0.00 |
| （4）著書数（うち邦文のもの） | 0 編　（0 編） |
| （5）症例報告数（うち邦文のもの） | 0 編　（0 編） |
| そのインパクトファクターの合計 | 0.00 |

## ４　特許等の出願状況

| | 平成 25 年度 |
|---|---|
| 特許取得数（出願中含む） | 0 件 |

## ５　医学研究費取得状況

| | 平成 25 年度 |
|---|---|
| （１）文部科学省科学研究費 | 0 件　　（0 万円） |
| （２）厚生労働科学研究費 | 0 件　　（0 万円） |
| （３）他政府機関による研究助成 | 0 件　　（0 万円） |
| （４）財団助成金 | 0 件　　（0 万円） |
| （５）受託研究または共同研究 | 0 件　　（0 万円） |
| （６）奨学寄附金その他（民間より） | 0 件　　（0 万円） |

## ６　新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

## ７　学会活動

| | 国際学会 | 国内学会 |
|---|---|---|
| （１）特別講演・招待講演回数 | 0 件 | 0 件 |
| （２）シンポジウム発表数 | 0 件 | 0 件 |
| （３）学会座長回数 | 0 件 | 0 件 |
| （４）学会開催回数 | 0 件 | 0 件 |
| （５）学会役員等回数 | 0 件 | 0 件 |
| （６）一般演題発表数 | 0 件 | |

## ８　学術雑誌の編集への貢献

| | 国　内 | 外　国 |
|---|---|---|
| 学術雑誌編集数（レフリー数は除く） | 0 件 | 0 件 |

## ９　共同研究の実施状況

| | 平成 25 年度 |
|---|---|
| （１）国際共同研究 | 0 件 |
| （２）国内共同研究 | 0 件 |
| （３）学内共同研究 | 0 件 |

## 10　産学共同研究

| | 平成 25 年度 |
|---|---|
| 産学共同研究 | 0 件 |

## 11　受　　賞

## 12　研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1.　中東遠および志太榛原の両医療圏の病院運営の安定化に向けた研究

中東遠医療圏および志太榛原医療圏は,静岡県内でも特に医師不足が深刻化している地域である。研究対象地域内の公立病院をはじめとする医療機関などを対象に文献および訪問調査に基づく分析を行い，医療機関の経営の課題や安定的な運営を図る上で障害となっている要因，さらには医療・福祉・介護の質の高い連携を図ることによって入院・外来・在宅医療の充実を図るために解決すべき課題を分析した。

また，研究成果のアウトリーチに注力し，こうした地域医療の中核を担う公立病院が将来にわたって医療ニーズに確実に応えるためには経営改革が急務である現状を踏まえ，公立森町病院経営改革委員会、藤枝市立総合病院救急センター建設協議会に参画し，専門的見地から病院の実態に即した助言・提言を行った。

さらに、静岡県在宅医療推進センター西部支部が主催する在宅医療普及講演会において、中東遠医療圏の地域医療連携の現状に係る講演を行った（平成 25 年 5 月 11 日，アクトシティ浜松コングレスセンター)。

2. 緊急被ばく医療に関する人材育成

突発的な災害の発生に対して限られた人的資源や医療設備・資機材を使って適切な医療サービスを提供するためには，有機的に連携できる人および組織の整備が欠かせない。さらに，連携体制を構築するにあたっては，地域の特性を踏まえて現有資源を活かすことが大切である。

こうした観点に立ちながら，緊急被ばく医療を対象として，中東遠医療圏および志太榛原医療圏における実効的な連携体制の確立と専門家育成を目指した活動に取り組み、中東遠総合医療センターの医療スタッフおよび事務職員を対象にした緊急被ばく医療研修会を開催して緊急被ばく医療に係る知識と医療スタッフの放射線防護の考え方に関する講義と実習を行った(平成26年1月21日，中東遠総合医療センター)。

3.　平成 25 年度の社会貢献事業

1) 明日の病院運営を考える会（病院事務職員向け）
- 平成 25 年 7 月 24 日　　TPK 浜松 カンファレンスセンター
- 平成 26 年 3 月 12 日　　アクトシティ浜松 コングレスセンター

2) 地域医療支援ネットワーク協議会
- 平成 25 年 7 月 5 日　　掛川グランドホテル
- 平成 25 年 11 月 28 日　　掛川グランドホテル

3) 浜松脳卒中友の会 講演会
- 平成 25 年 9 月 1 日　　浜松医療センター

4) 富士宮市立病院 第 70 回市民健康講座

・平成 25 年 9 月 27 日　　富士宮市立病院

5) 島田市 地域医療を考える講演会（地域医療を考える月間推進事業）

・平成 25 年 9 月 8 日　　プラザおおるり

6) 藤枝市 地域医療を考える講演会（地域医療を考える月間推進事業）

・平成 25 年 9 月 25 日　　小杉苑

7) 菊川市 地域医療シンポジウム（地域医療を考える月間推進事業）

・平成 25 年 9 月 28 日　　菊川文化会館アエル

8) 袋井市 地域医療シンポジウム

・平成 25 年 12 月 7 日　　袋井市役所

9) 島田市 防災研修会

・平成 25 年 11 月 24 日　　金谷公民館

10) こころざし育成セミナー（高校生向け）

・平成 25 年 8 月 12 日　　磐田市立総合病院

・平成 25 年 8 月 15 日　　市立島田市民病院

・平成 25 年 8 月 26 日　　伊東市民病院

11) 静岡県立袋井高等学校 大学派遣講義（高校生向け）

・平成 25 年 9 月 13 日　　静岡県立袋井高等学校

## 13　この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14　研究の独創性，国際性，継続性，応用性

病院運営の安定化に関する研究は，地域の知的拠点であるとともに地域医療の中核的・指導的立場にある本学が，地域の求める専門人材育成や安全・安心な地域形成に貢献することに繋がるものである。

## 15　新聞，雑誌等による報道

| | | |
|---|---|---|
| 1. 『地域医療を育む会』発足 | 静岡新聞 | 平成 25 年 4 月 14 日（日） |
| 2. 8 日に地域医療考える講演会 | 静岡新聞 | 平成 25 年 9 月 2 日（月） |
| 3. 医療志望生徒に講義　袋井高 | 中日新聞 | 平成 25 年 9 月 14 日（土） |
| 4. 地域に貢献する人材に | 静岡新聞 | 平成 25 年 9 月 17 日（火） |
| 5. 地域医療の現状　紹介 | 静岡新聞 | 平成 25 年 9 月 26 日（木） |
| 6. 袋井で地域医療シンポ　訪問診療の整備指摘 | 中日新聞 | 平成 25 年 12 月 15 日（日） |